



# 碧南市景色づくり計画

(碧南市景観計画)

概要版



施行日：令和3年10月1日

告示日：令和3年 7月1日

碧南市



# 目次

## 序 章 碧南市景色づくり計画の意義

景観計画策定の背景と目的／景観計画の役割／景色づくりの役割／計画期間と見直し

## 第 1 章 景観計画区域の設定

景観計画区域／碧南市の景色特性

## 第 2 章 良好な景観の形成に関する方針

基本理念／景色の将来像／基本目標

市全域にかかる景色づくりの基本方針

地域区分別の景色づくりの基本方針

景色づくりの目標と基本方針のまとめ

【線的要素】基本軸

【面的要素】ゾーン

## 第 3 章 良好な景観の形成のための行為の制限

行為の種類／3つの制度

行為の届出／チェックシートの提出／地域説明会の開催

景観形成基準

## 第 4 章 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針

景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針

## 第 5 章 景色づくりの推進に向けて

屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する行為の制限に関する事項

景観重要公共施設の整備に関する事項

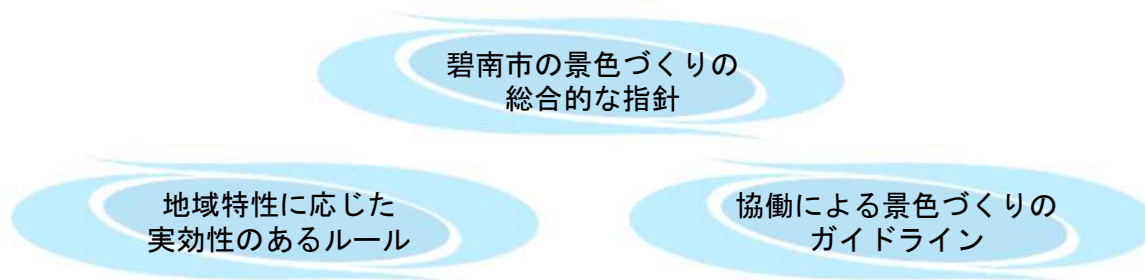
## 序章 碧南市景観計画の意義

### ■景観計画策定の背景と目的

本市は、平成19年3月に策定した、「碧南市景色づくり基本計画」に基づき「景色の共有化」の取り組みを進めてきました。

この度、「景色の共有化」から「景色を守り、育む」取り組みを進め、「碧南市の将来像」の実現に向けて、積極的に景色づくりを推進するため、「碧南市景観計画」を策定しました。

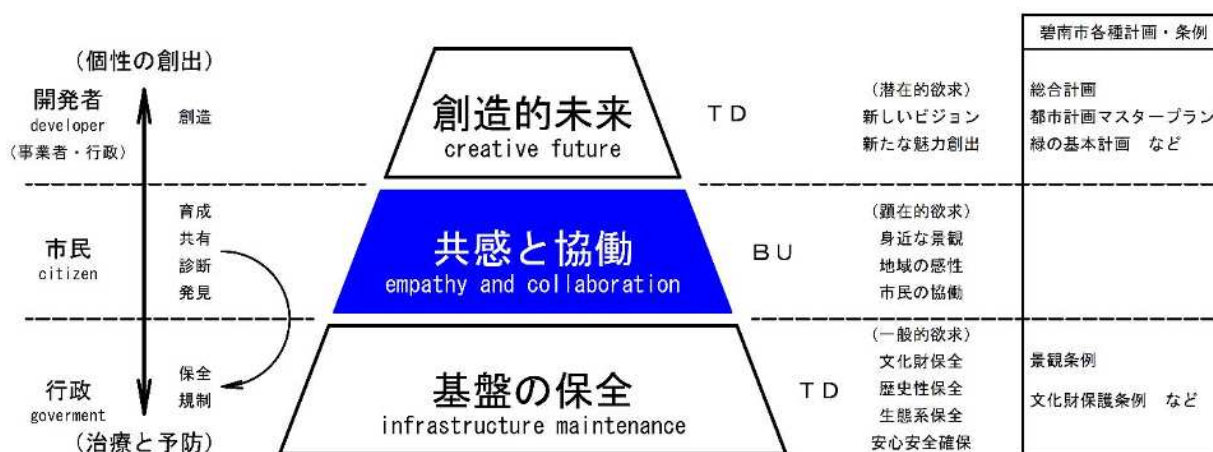
### ■景観計画の役割



### ■景色づくりの考え方

景色づくりは「基盤の保全」、「共感と協働」、「創造的未来」の三つから成り立っている。

「基盤の保全」は、主に行政が行う文化財や歴史性、生態系、安心安全が作られる基盤を守るための規制・保全である。「共感と協働」は行政ではできない部分であり、そこに住んでいる市民が景色を守りたいと思い、景色の発見や共有、育成を行う部分である。さらに「創造的未来」とは、事業者（設計者）が新たな魅力を創造することで生まれるものである。



※ T D：トップダウン  
B U：ボトムアップ

## ■景色づくりの役割

### 市民の役割

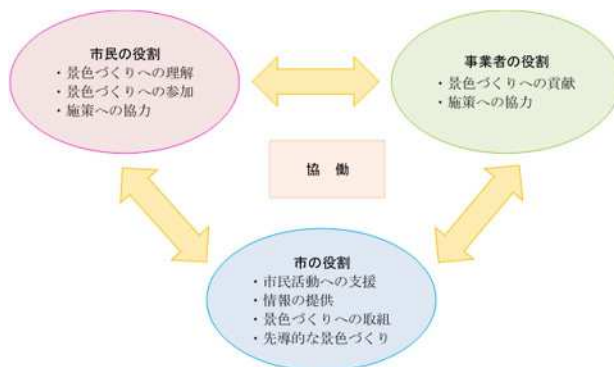
市民一人ひとりが日々の暮らしのなかで、「自らが景色づくりの担い手」とであると理解し、その意識を持ち、景色づくりの主体となって取り組む役割を担うことが求められます。また、市が実施する良好な景色づくりに関する施策に協力するよう努めなければなりません。

### 事業者の役割

自らの事業活動が景色に影響を与えることを認識し、「自らが景色づくりの担い手」とであると理解し、その意識を持ち、まちの景色づくりに積極的に貢献するよう努めます。また、市民などが行う取組や市が実施する施策に協力するよう努めなければなりません。

### 市の役割

市民、事業者の景色づくりへの理解を促し、意識を高める機会を設けて、自主的な景色づくり活動を支援します。景色づくりを進めるうえで、必要な各種制度の活用・創設を推進します。また、市民、事業者の意見を聞きながら、景色づくりの先導的な役割を果たす事業を進めます。



## ■景観計画の位置づけ

本計画は、景観行政団体である本市が景観法第8条第1項に基づき、策定する景観計画です。

本計画では、本誌の景色の特性、課題やこれまでの取り組みを踏まえて、以下のうち①から⑤について定めるほかに、景色づくりの推進のための施策も合わせて定めています。

### 景観計画において定める項目（景観法第8条関係）

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 必須事項 | ①景観計画区域                  |
|      | ②良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項 |
|      | ③景観重要建造物*又は景観重要樹木*の指定の方針 |
| 選択事項 | ④屋外広告物の表示・掲出に関する事項       |
|      | ⑤景観重要公共施設に関する基準          |
|      | ⑥景観農業振興地域整備計画に関する事項      |
|      | ⑦自然公園法の許可の基準             |

## ■計画期間と見直し

令和3年の計画策定後、市民の景観に対する現状把握・調査を行い、計画策定10年後を目途に計画の見直しを行います。

※計画策定5年後を目途に、社会情勢の変化、市民、事業者、行政の意識の高まり等の調査を行い、必要に応じて見直しを図ります。

# 第1章 景観計画区域

## ■景観計画区域

本市の景色特性の整理あたっては、本市の景色の特徴を際立たせるために、「水と緑に囲まれた潤いを与える景色」、「まちの変化と現在を映す多様な景色」、「歴史や産業、地域の特徴を表す景色」という3つの視点を設けています。

市全域に広がる様々な景色資源と調和した景色づくりが必要であると考え、市全域を景観法に基づく景観計画の区域とします。

## ■碧南市の景色特性



## 第2章 良好な景観の形成に関する方針

### 景色づくりとは・・・

景色づくりを行っていくためには、まず自分が気になる景色や美しいと感じる景色は何なのかを意識することから始まります。次に他人との共通点や地域性を見つけ、まちの共通の景色資源として評価していくことが重要です。

また、景色づくりは、古い資源を守ること（今ある資源同士を調和させること）と同時に、新しい資源をつくること（古い資源と対比させること）で古い資源と新しい資源の両方が輝くようになります。

（碧南市主催 景観行政団体化記念講演会

愛知県立芸術大学 水津功准教授基調講演（H23. 2. 27）より）

### 基本理念

- 今日まで続く本市の歴史・文化と風土のなかで、市民とともに育まれてきた地域特有の景色は、将来にわたって受け継がれていくべき本市の財産と捉えます。
- 景色の保全・活用を図りながら、さらには新たな景色を創出することにより、碧南らしい魅力ある景色づくりに取り組みます。
- 景色づくりを通して、市民、事業者、行政の協働によりみんなが「心豊かに暮らせるまち」を創出し、碧南の景色が次世代へと受け継がれていくことを目指します。

### 景色の将来像

水と緑に恵まれ 歴史が香り 活気があふれる景色 へきなん

### 基本目標

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 自 然   | 水と緑を軸として自然とふれあえる景色づくり    |
| 歴 史   | 先人からの伝統や歴史的資源を守り活かす景色づくり |
| 暮 ら し | 安心・安全で豊かな暮らしを育む景色づくり     |
| 産 業   | 交流とにぎわいを創出する景色づくり        |
| 協 働   | 協働により成長し続ける景色づくり         |

# 市全域にかかる景色づくりの基本方針

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民にゆとりと潤いを与える水辺空間や自然環境の保全により水と緑のネットワークを形成し、生物多様性の保全を図ります。</li> <li>・水質浄化、公共下水道の普及やごみ対策などにより、海、河川、湖沼や水路の水辺環境の改善に努めます。</li> <li>・地域の特徴的な自然資源である斜面林や緑地の保全・活用を図ります。</li> <li>・市民にやすらぎを与える緑の景色として、市街地周辺の一団の農地の保全を推進します。</li> <li>・広域的な視点場からの眺望を保全するために必要な規制や誘導を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                          |
| 歴史  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史とともに守り育まれてきた社寺林や地域のシンボルとなる樹木などの保全・活用により、水と緑のネットワークを形成します。</li> <li>・市内に点在する寺社、常夜燈や石碑など歴史的な趣を際立たせる地域資源を活用した景色づくりを推進します。</li> <li>・忘れつつある地域の歴史的シンボル等をまちの財産として新たに発掘し、市民共有の景色資源として保全・活用を図ります。</li> <li>・寺社や路地のある古いまちなみの景色を保全・活用する仕組みやルールづくりを検討します。</li> <li>・地域のシンボルとして親しまれている建造物や樹木のなかで、景色づくりにおいて重要なものを景観重要建造物や景観重要樹木に指定し、保全、活用を図ります。</li> <li>・祭りや伝統的行事を通じて、歴史的・文化的な景色の継承に努めます。</li> </ul>                                                                                                                          |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な空間の緑化や水辺空間の創出により、水と緑のネットワークを形成し、良好な住環境の創出を目指します。</li> <li>・市民がやすらぎを感じ、地域への親しみと愛着を持って暮らせるまちなみの保全・創出を図ります。</li> <li>・子どもからお年寄りまでの、誰もが分かりやすく使いやすい、ユニバーサルデザインに配慮した景色づくりを推進します。</li> <li>・路地は、防災・防犯などの安全性や利便性を確保しながら、空間としての魅力を維持できるよう、地域の要望を踏まえ保全・活用を検討します。</li> <li>・公園・緑地は、レクリエーション機能や防災機能の強化に努め、協働手法を用い、歴史や自然などの地域性に配慮した景色の創出に努めます。</li> <li>・行政サービス施設や文化施設などの公共施設は、景色づくりの先導役となるように、周辺の環境や景色との調和に配慮して整備します。</li> <li>・碧南中央駅などの駅周辺は、市の顔としてふさわしい魅力的な都市の景色づくりを推進します。</li> </ul>                                       |
| 産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路緑化や臨海工業地帯と市街地を緩衝する緩衝緑地の保全・活用により、市街地の景色に潤いを与える基幹的な水と緑のネットワークを形成します。</li> <li>・商業機能は駅を中心に集積を図りながら、緑化の推進や沿道のにぎわいの連続性に配慮したまちなみの形成を図ります。</li> <li>・幹線道路は優先順位を考慮し電線類の地中化を図ります。</li> <li>・街路樹や沿道の緑化による緑豊かな都市空間の創出を図り、地域や路線ごとに樹種の選定や剪定などの管理のあり方を検討します。</li> <li>・臨海工業地帯は、市街地や対岸からの眺望に配慮した規制や誘導を図るとともに、緑化により緑豊かな景色の創出を促進します。</li> <li>・地場産業が立地している地域は、働く場と周辺の生活の景色との調和に努めます。</li> <li>・屋外広告物はデザイン、質や適正な規模など、地域特性に応じた規制や誘導を推進します。</li> </ul>                                                                                |
| 協働  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水と緑のネットワークの形成に向けて、協働による全市的な取組の実現を図るため、緑化、維持管理の仕組みづくり、支援や普及啓発活動の充実を推進します。</li> <li>・市、事業者、市民が景色づくりへの関わりをともに理解し合い、協働による景色づくりを推進します。</li> <li>・景色の将来像と具体的な取組の整合性を図るために、景色づくりに関する情報の把握や共有化の仕組みづくりを推進します。</li> <li>・景色の保全・活用・創出のために、市民、事業者との合意形成を図る手段や方法などを継続的に検討します。また、景色づくりの意識が高まった地域では景色像を共有しながら、良好な景色づくりに向けて規制、誘導、事業などを効果的にバランスよく展開していきます。</li> <li>・景色づくりを通じたコミュニティの醸成のために、市民主体の景色づくりを推進します。</li> <li>・市民・事業者の発意に基づく、身近な景色づくりの取組を支援する仕組みづくりを検討します。</li> <li>・社会情勢などにより変化する景色や市民意識の高まりに応じて景観計画の見直しを検討します。</li> </ul> |

## 地域区分別の景色づくりの基本方針

景観計画では、本市の景色特性を活かし、地域の実情に応じた景色づくりや、市民の景色づくりに対する合意形成を得やすくするため、以下の8つの線的要素と7つの面的要素を地域区分として設定します。

### 【線的要素】基本軸

旧海岸線や河川など、類似する景色特性を持った線的なつながりのある区域

- ① 旧海岸線基本軸
- ② 旧堤防基本軸
- ③ 矢作川基本軸
- ④ 蜷川基本軸
- ⑤ 新川基本軸
- ⑥ 堀川基本軸
- ⑦ 旧名鉄三河線基本軸

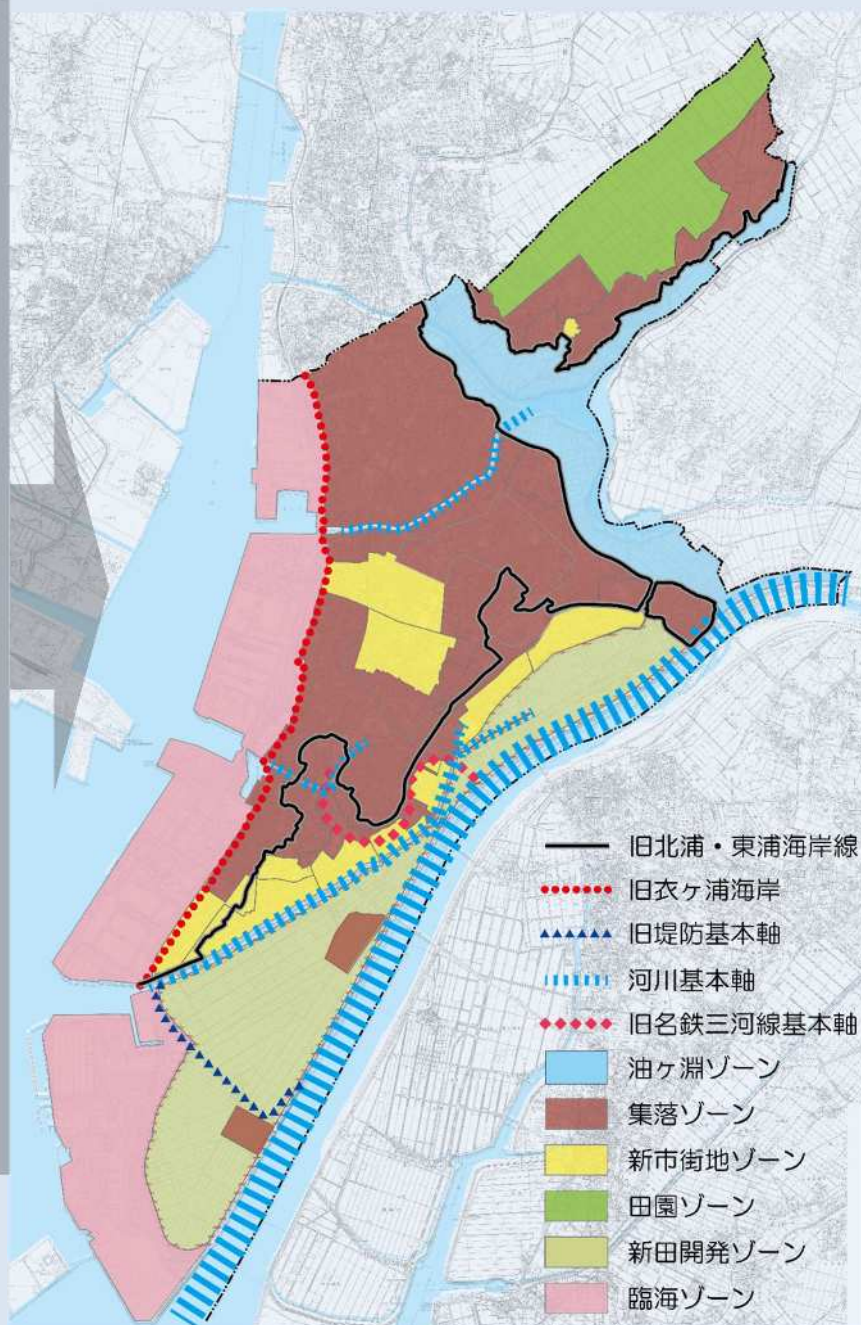


### 【面的要素】ゾーン

自然的条件や歴史の変遷など、類似する景色特性を持った面的なまとまりのある区域

- A 油ヶ淵ゾーン
- B 集落ゾーン
- C 新市街地ゾーン
- D 田園ゾーン
- E 新田開発ゾーン
- F 臨海ゾーン

生活ゾーン



## 景色づくりの目標と基本方針のまとめ

| 地域区分        | 基本目標                 |
|-------------|----------------------|
| 【線的要素】基本軸   |                      |
| ① 旧海岸線基本軸   | 旧海岸線の記憶をたどり風土を活かす    |
| ② 旧堤防基本軸    | 松並木の自然と眺めを守り活かす      |
| ③ 矢作川基本軸    | 母なる川、矢作川の豊かな自然を感じられる |
| ④ 蜷川基本軸     | 蜷川とふれあえる潤いのある景色      |
| ⑤ 新川基本軸     | 新川とともに歩む歴史と水辺に親しむ    |
| ⑥ 堀川基本軸     | 堀川のにぎわいを再生し水辺に親しむ    |
| ⑦ 旧名鉄三河線基本軸 | 鉄道の名残を活かしまちの骨格を創造する  |
| 【面的要素】ゾーン   |                      |
| A 油ヶ淵ゾーン    | 油ヶ淵に抱かれた自然と歴史にあふれる景色 |
| B 集落ゾーン     | 歴史を重んじ未来へつなぐ         |
| C 新市街地ゾーン   | 新たなまちに周辺との調和と個性を生み出す |
| D 田園ゾーン     | 台地に広がる農の景色と眺めを守り活かす  |
| E 新田開発ゾーン   | 川沿いに広がる農の景色と眺めを守り活かす |
| F 臨海ゾーン     | 活気ある産業と海と緑に親しむ       |

## ■【線的要素】 基本軸

### ① 旧海岸線基本軸：旧海岸線の記憶をたどり風土を活かす

臨海部と内陸部を分ける旧衣ヶ浦沿いの海岸線や 1600 年代の旧北浦・東浦沿いの海岸線の名残が感じられる資源をおおむね含む幅約 30m の範囲です。



旧衣ヶ浦海岸線の景色資源分布図



旧北浦・東浦海岸線の景色資源分布図

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>旧海岸線基本軸の景色資源を散策道などで結びつけ、旧海岸線の歴史を感じられる新たな水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの空間の創出を目指します。</li> <li>斜面林、西端里地、旧碧南用水、連合用水、社寺林や潮遊池などを保全し、生物多様性※に配慮します。</li> <li>在来種での緑化に努め、生物多様性に配慮します。</li> <li>旧海岸線の斜面林、里地や緑のつらなりは、地域を象徴する自然の景色資源として保全・活用を図ります。</li> </ul> |
| 歴史  | <ul style="list-style-type: none"> <li>旧海岸線基本軸の景色資源は、地域の歴史を物語る重要な景色資源として、保全を図ります。</li> <li>案内板、誘導板や散策道などにより景色資源を結び、歴史を感じられる新たな空間の創出に努めます。</li> </ul>                                                                                                                             |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>建築物などの規制や誘導により、旧海岸線基本軸に残る景色資源と調和した景色の創出を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                  |



新須磨松林



権現崎灯台



斜面林

## ②旧堤防基本軸：松並木の自然と眺めを守り活かす

市南部の旧堤防につらなる豊かな松並木のある道路から、松並木の名残が感じられる資源をおおむね含む両側約 30m の範囲です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                              |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>旧堤防基本軸の景色資源の保全・活用により、旧堤防の歴史を感じられる水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの空間の創出を目指します。</li> <li>松並木の保全や前浜排水路の水質浄化により、生物多様性に配慮します。</li> <li>在来種での緑化に努め、生物多様性に配慮します。</li> </ul> |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>遠方からの眺め等に配慮した、建築物などの規制や誘導により、旧堤防につらなる松並木と調和した景色の保全・活用を図ります。</li> </ul>                                                                                     |



松並木



松並木と碧南火力発電所



川口神社



## ③矢作川基本軸：母なる川、矢作川の豊かな自然を感じられる

矢作川と矢作川の河川区域※から、河畔林や矢作川の景色を構成する資源をおおむね含む片側の幅約 100m の範囲です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                           |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>矢作川基本軸の景色資源の保全・活用により、矢作川の豊かな自然を感じられる水と緑のネットワークを形成し、矢作川の自然の姿が色濃く残ったゆとりと潤いの空間の創出を目指します。</li> <li>矢作川の自然の景色資源を保全し、生物多様性に配慮します。</li> <li>在来種での緑化に努め、生物多様性に配慮します。</li> </ul> |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の景色との調和に配慮した、建築物などの規制や誘導により、矢作川から望む市街地への眺望や矢作川沿いに広がる農地の景色の保全を図ります。</li> <li>矢作川堤防リフレッシュ道路の整備は、全ての利用者が周辺の眺望を楽しめるように配慮します。</li> </ul>                                   |



桜つつみ



堤防のお地蔵さん



厳島社



#### ④ 蜷川基本軸：蜷川とふれあえる潤いのある景色

川沿いと蜷川の河川区域から、蜷川の景色を構成する資源をおおむね含む両側の幅約 50m の範囲です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                            |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・蜷川基本軸の景色資源の保全・創出や親水空間の創出により、蜷川とふれあえる水と緑のネットワークを形成し、蜷川の自然の姿が色濃く残ったゆとりと潤いの空間の創出を目指します。</li> <li>・蜷川の自然の景色資源を保全し、生物多様性に配慮します。</li> <li>・在来種での緑化に努め、生物多様性に配慮します。</li> </ul> |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の景色との調和に配慮した、建築物などの規制や誘導により、蜷川から望む市街地への眺望や蜷川沿いに広がる農地の景色の保全を図ります。</li> <li>・蜷川流域の高潮や洪水の浸水被害への治水対策を考慮しながら、景色の創出への取組が図られるよう、総合的に検討します。</li> </ul>                        |
| 産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボートのある特徴的な景色を活かせるように、適正な管理がなされるように努めます。</li> </ul>                                                                                                                      |



蜷川・八村川の合流部



蜷川



権現崎灯台



#### ⑤ 新川基本軸：新川とともに歩む歴史と水辺に親しむ

新川沿いと新川の河川区域から、新川の景色を構成する資源をおおむね含む両側の幅約 30m の範囲です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                      |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新川基本軸の景色資源の保全・創出や親水空間の創出により、新川の歴史を感じられる水と緑のネットワークを形成し、まちなかのゆとりと潤いの空間の創出を目指します。</li> <li>・新川の自然の景色資源を保全し、生物多様性に配慮します。</li> <li>・在来種での緑化に努め、生物多様性に配慮します。</li> </ul> |
| 歴史  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古くから続いてきた地場産業のある景色は、いつまでも歴史を感じられる住工共生の景色として、地区計画などの活用により、保全に努めます。</li> </ul>                                                                                      |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁からの眺望、新川沿いのまちなみに配慮した、建築物などの規制や誘導により、新川沿いを含む新たな憩いの景色の創出を図ります。</li> <li>・新川流域の高潮や洪水の浸水被害への治水対策を考慮しながら、景色の創出への取組が図られるよう、総合的に検討します。</li> </ul>                      |



権江橋



新川



鉄道橋



## ⑥ 堀川基本軸：堀川のにぎわいを再生し水辺に親しむ

堀川沿いと堀川の河川区域から、堀川の景色を構成する資源をおおむね含む両側の幅約 30m の範囲です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>堀川基本軸の景色資源の保全・創出や親水空間の創出により、水辺に親しめる水と緑のネットワーク※を形成し、まちなかのゆとりと潤いの空間の創出を目指します。</li> <li>堀川の自然の景色資源を保全し、生物多様性に配慮します。</li> <li>在来種での緑化に努め、生物多様性に配慮します。</li> </ul>                                                                                                                          |
| 歴史  | <ul style="list-style-type: none"> <li>趣ある倉庫や住宅が河川沿いに建ち並ぶ景色は、かつての水運の名残を物語る景色として、建築物などの規制や誘導により、保全を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                           |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>橋梁からの眺望、堀川沿いの見通しや趣あるまちなみに配慮した、建築物などの規制や誘導により、堀川を特徴づける独特な景色の保全・創出を図ります。</li> <li>堀川と周辺地域が一体となったまちなみの創出を目指し、地域の合意形成を図りながら、周辺の建築物などは河川側に顔を向けた商業系の土地利用の誘導を検討します。</li> <li>堀川流域の高潮や洪水の浸水被害への治水対策を考慮しながら、景色の創出への取組が図られるよう、総合的に検討します。</li> <li>緑地や社寺林の保全、既存の広場の活用により、憩いの空間を創出します。</li> </ul> |



大浜漁港



旧大浜警察署



湊橋



## ⑦ 旧名鉄三河線基本軸：鉄道の名残を活かしまちの骨格を創造する

平成 16 年 3 月に廃線となった名鉄三河線の碧南駅から矢作川堤防までの名鉄三河線廃線跡地とそれに隣接するおよそ 1 宅地を含む範囲です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>碧南レールパークを中心とした民有地や水辺空間の緑化や歩行空間の創出により、交流の場となる新たな水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの空間の創出を図ります。</li> <li>在来種での緑化に努め、生物多様性に配慮します。</li> </ul> |
| 歴史  | <ul style="list-style-type: none"> <li>かつての名鉄三河線の記憶を思い起こし、歴史を感じられる新たな空間の創出を図ります。</li> </ul>                                                                         |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>沿道を含む民有地の建築物などの規制や誘導により、碧南レールパークと調和したまちなみの形成を図ります。</li> </ul>                                                                |



廃線跡地（整備前）



碧南レールパーク



棚尾広場



## ■【面的要素】 ゾーン

### A 油ヶ淵ゾーン：油ヶ淵に抱かれた自然と歴史にあふれる景色

油ヶ淵とそれにつらなる高浜川などの河川と、それら周辺に広がる田畑などの周辺部を含む区域です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>油ヶ淵、高浜川などの河川、斜面林、西端里地、農地、栄願寺、応仁寺の緑を歩行空間や親水空間で結びつけ、水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの感じられる空間の創出を目指します。</li> <li>油ヶ淵、高浜川などの水辺空間、斜面林、西端里地や農地の緑の景色資源を保全し、生物多様性に配慮します。</li> <li>油ヶ淵の水辺と周辺に広がる四季折々の美しい景色を保全・活用し、自然と身近にふれあえる憩いの空間の創出を目指します。</li> <li>旧海岸線の斜面林、里地や緑のつらなりは、地域を象徴する自然の景色資源として保全・活用を図ります。</li> <li>農業の担い手の確保や農業振興を図り、農用地の保全に努めます。</li> </ul> |
| 歴史  | <ul style="list-style-type: none"> <li>油ヶ淵ゾーンを縁取る斜面林、西端里地や応仁寺などの景色資源は、地域の歴史を物語る重要な景色資源として、保全・活用を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の景色との調和に配慮した、建築物などに対する規制や誘導により、スカイラインを縁取る油ヶ淵の眺望、斜面林や農地の広がる景色の保全・創出を図ります。</li> <li>橋梁からの眺望、河川沿いの見通しや周辺の景色との調和に配慮した、建築物などの規制や誘導により、河川や農地が連なる景色の保全・創出を図ります。</li> <li>浸水被害に対する安全確保を図りながら、周辺の景色との調和に配慮した快適な住環境の創出が図られるよう、総合的に検討します。</li> <li>県営油ヶ淵水辺公園の整備は、愛知県や安城市と連携し、市、事業者、市民の協働により、周辺の景色との調和を図ります。</li> </ul>                         |
| 産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>工業地の新たな整備や建て替えにあたっては、建築物などの規制や誘導により、周辺の農地、集落と調和した景色の創出に努めます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                               |



市民病院



油ヶ淵



花しょうぶまつり

## B 集落ゾーン：歴史を重んじ未来へつなぐ

主に、平安時代末期から形成された集落が広がる区域と昭和時代後期以降に集落の周辺に市街化が進んだ区域です。



|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>旧海岸線の斜面林や里地、緑のつらなり、旧衣ヶ浦海岸線の緑地、緑のつらなりや潮遊池は、地域を象徴する自然の景色資源として保全・活用を図ります。</li> <li>市街地にある農地は、良好な都市環境の形成に必要な緑として保全・活用します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 歴史  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域に点在する社寺林やシンボルとなる樹木などを保全・活用して、歴史を感じられる水と緑のネットワークの形成を図ります。</li> <li>路地を回遊しながら歴史性に富んだまちなみを体感できるように、案内板、誘導板、道路の修景や辻広場の整備など、地域の魅力を高める景色の創出を推進します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>民有地の緑化などにより、道路、公園などの公共施設と結びつけ、水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの感じられる空間の創出を目指します。</li> <li>まちなみの形成においては、様々な選択肢の中から地域が思い描く将来像を明らかにしながら、建築物などへの規制や誘導により、良好な景色の保全・創出を目指します。</li> <li>大浜地区、棚尾地区の町屋、三州瓦の住宅、蔵や黒板張りなどの趣のある連続したまちなみは、地域が思い描く将来像を明らかにしながら、良好な景色の保全・創出を目指します。</li> <li>川口町や前浜町の集落は、周辺の田園環境との調和を意識した、建築物などの規制や誘導により、良好な集落の景色の保全・創出を図ります。</li> <li>土地区画整理事業や民間開発など新たに開発行為を行う場合は、地区計画、建築協定や景観協定などの活用により、良好な景色の創出に努めます。</li> <li>浸水被害に対する安全確保を図りながら、周辺の景色との調和に配慮した快適な住環境の創出が図られるよう、総合的に検討します。</li> <li>景色づくりにおいて重要な路地は、地域で求められるあり方を明らかにしながら、その仕組みづくりを検討します。</li> <li>地域に点在する小規模な公園や辻広場は身近な憩いの空間として保全に努めます。</li> </ul> |
| 産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>北新川駅、新川町駅、碧南駅周辺は、歴史的、文化的資源の活用、利便性の向上を図りながら、魅力的な都市の拠点としての景色の創出を目指します。</li> <li>幹線道路沿いの商業施設は、周辺の景色との調和や魅力的な沿道空間の創出に配慮した、建築物や屋外広告物に関する制限や誘導を図ります。</li> <li>市民にとって身近な商店街は、安心して歩いて楽しめる賑わいのある景色の創出を目指します。</li> <li>主要な区画道路※は、地域が思い描く都市環境や景色の将来像を明らかにしながら、合意形成から整備に至るまでの仕組みづくりに努めます。</li> <li>住宅と工業施設が混在する地域は、様々な選択肢の中から地域で望まれる土地利用や景色像を明らかにしながら、景色の創出を図ります。</li> <li>工場の敷地は、周辺の自然環境に配慮した緑化により、水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの感じられる空間の創出を目指します。</li> </ul>                                                                                                                                                                  |



旧衣浦温泉街



芸術文化ホール



九重味淋大蔵



路地（浜町）



広藤園



せせらぎ水路  
(旧碧南揚水)



応仁寺



棚尾広場



(主) 安城碧南線



無我苑

## C 新市街地ゾーン：新たなまちに周辺との調和と個性を生み出す

土地区画整理事業の施行済、施行中の区域です。

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地にある農地は、良好な都市環境の形成に必要な緑として保全・活用します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                            |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>民有地の緑化により、道路、公園などの公共施設と結びつけ、水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの感じられる空間の創出を目指します。</li> <li>まちなみの形成においては、様々な選択肢の中から地域が思い描く将来像を明らかにしながら、建築物などへの規制や誘導により、良好な景色の保全・創出を目指します。</li> <li>浸水被害に対する安全確保を図りながら、周辺の景色との調和に配慮した快適な住環境の創出が図られるよう、総合的に検討します。</li> </ul> |
| 産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>碧南中央駅周辺は、都市機能の多様化と生活利便性の向上を図りながら、魅力的な都市の顔づくりを目指します。</li> <li>幹線道路沿いの商業施設は、周辺の景色との調和や魅力的な沿道空間の創出に配慮した、建築物や屋外広告物に関する規制や誘導を図ります。</li> </ul>                                                                                                    |



碧南中央駅



(一) 平坂福清水線



市役所



## E 田園ゾーン：台地に広がる農の景色と眺めを守り活かす

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>広がりのある田園、周辺の集落や樹林の一体的な保全により、水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの感じられる空間の創出を目指します。</li> <li>田園へのごみ不法投棄の防止、美化活動の推進などにより、水辺環境と田園の景色を保全し、生物多様性に配慮します。</li> <li>農業の担い手の確保や農業振興を図り、農用地の保全に努めます。</li> </ul> |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺の緑豊かな景色や農地の広がり、農村集落のまともに配慮した、建築物などの規制や誘導により、周辺の景色と調和した落ち着いたある景色の保全・創出を図ります。</li> </ul>                                                                                               |



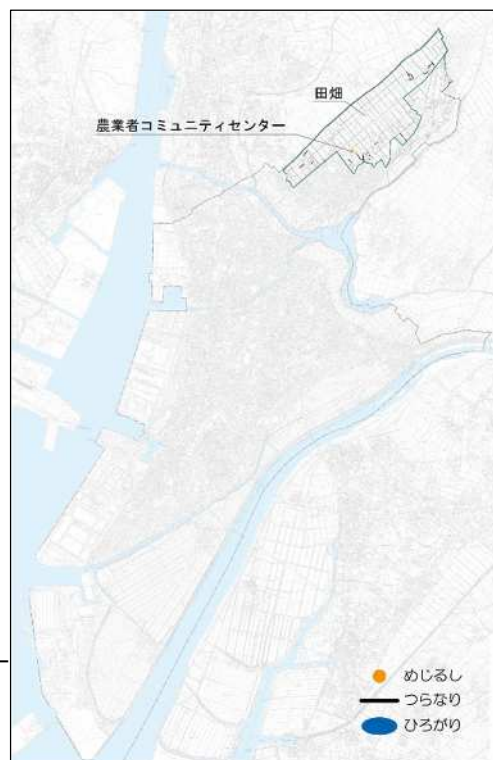
田畑



いちじく畑



農業者コミュニティセンター



## F 新田開発ゾーン：川沿いに広がる農の景色と眺めを守り活かす

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広がりのある田畑、河川、松並木や周辺の集落の一体的な保全により、水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの感じられる空間の創出を目指します。</li> <li>・ 田園へのごみ不法投棄の防止、美化活動の推進などにより、水辺環境と田園の景色を保全し、生物多様性に配慮します。</li> <li>・ 農業の担い手の確保や農業振興を図り、農用地の保全に努めます。</li> </ul> |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺の緑豊かな景色、農地の広がりや農村集落のまともに配慮した、建築物などの規制や誘導により、周辺の景色と調和した落ち着いたある景色の保全・創出を図ります。</li> <li>・ 矢作川や蜷川からの眺望に配慮した、建築物などの規制や誘導により、矢作川や蜷川からの眺望や農地の広がる景色の保全に努めます。</li> </ul>                              |



田畑（にんじん畑）



川口神社



あおいパーク



## G 臨海ゾーン：活気ある産業と海と緑に親しむ

|     | 基本方針                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海を身近に感じ市街地と海が融合した景色となるように、歴史を物語る景色資源や既存施設を活用した新たなゆとりと潤いの空間の創出を目指します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 暮らし | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨海ゾーンを縁取る公園、緑地、緑道、潮遊池（公有水面）は、市街地と臨海部をつなぐ憩いの空間として保全・創出に努めます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場の敷地、幹線道路や緩衝緑地は、周辺の自然環境に配慮した緑化により、水と緑のネットワークを形成し、ゆとりと潤いの感じられる空間の創出を目指します。</li> <li>・ 海の玄関口である新川港と大浜漁港は、豊かな自然や生活の営みとの調和を図りながら、身近に海と親しめる空間の創出に努めます。</li> <li>・ 幹線道路や市街地からの景色だけでなく、衣浦港の対岸からの広域的な景色との調和に配慮した、建築物などの規制や誘導により、周辺の景色と調和した活気と潤いのある景色の保全・創出を図ります。</li> <li>・ 公共岸壁や企業岸壁の開放について、施設管理者とともに検討し、市民が集い、安らげる、新たな空間の創出を目指します。</li> </ul> |



臨海公園



大浜漁協



松並木と碧南火力発電所



## 第3章 良好な景観の形成のための行為の制限

### ■ 行為の種類

3つの制度の対象となる行為は次のとおりです。

#### 1 建築物の建築等

建築物（注1）の新築、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更

#### 2 工作物の建設等

工作物（注2）の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更

#### 3 開発行為

都市計画法第4条第12項に規定する開発行為

#### 4 その他

その他政令で定める行為（注3）

（注1） 「建築物」とは、建築基準法第2条第1号に規定する建築物をいいます。

（注2） 「工作物」とは、20ページに記載の表に該当する工作物をいいます。

（注3） 「その他政令で定める行為」とは、景観法施行令第4条第1号、第2号、第5号で定める行為等をいいます。

#### 都市計画法第4条第12項

この法律において「開発行為」とは、主として建築物の建築又は特定工作物の建設の用に供する目的で行なう土地の区画形質の変更をいう。

#### 景観法施行令第4条第1号、第2号、第5号

- ・ 土地の開墾、土石の採取、鉱物の採取その他土地の形質の変更
- ・ 木竹の植栽又は伐採
- ・ 水面の埋立て又は干拓

### ■ 3つの制度

良好な景観の形成を推進するために、景観法に基づき「良好な景観の形成のための行為の制限」を定めます。

碧南市内において、建築物の建築等や工作物の建設等、及び開発行為等を行う場合には、その規模に応じて、「行為の届出」、「チェックシートの提出」、「地域説明会の開催」の3つの制度を適用します。

表 行為に関する3つの制度

| 制度         | 制度の概要                                                                                                                                  | 対象区域  | スケジュール                     | 条例への記載 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------|--------|
| 行為の届出      | 行為をしようとする者が届出対象となる行為を行う場合、建築計画等に関する書類を届け出ること、景観形成基準への適合を確認することを目的とした制度。                                                                | 市内全域  | 行為着手の<br><u>30日以上前</u> に提出 | ○      |
| チェックシートの提出 | 住宅や事務所等の小規模な建築や行為の届出対象となる行為などにおいて、市民や事業者など行為をしようとする者へ「良好な景観の形成」に対する意識啓発を図ることを目的とした制度。                                                  | 市内全域  | <u>設計から完成までの間に</u> 提出      | —      |
| 地域説明会の開催   | 行為をしようとする者が生活ゾーンにおいて、一定規模以上の建築物の建築等を行う場合、地域住民が参加する説明会等の手法を用いて、その建築計画等を説明し、良好な景観の形成を促進することを目的とした制度。<br>※他法令等に基づき説明会等を行う場合はこれと兼ねることができる。 | 生活ゾーン | <u>行為の届出前</u> に実施          | —      |

表 行為の種類による3つの制度

| 行為の種類     |                                                   | 対象地域  | 行為の規模                                                                     | 行為の届出 | チェックシートの提出 | 地域説明会の開催 |
|-----------|---------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------|-------|------------|----------|
| ① 建築物の建築等 | 建築物の新築、増築（注2）、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕または色彩の変更（注3） | 生活ゾーン | 高さ 10m以下かつ建築面積 500 m <sup>2</sup> 以下のもののうち、確認申請（注1）を行うもの（注5）              | —     | ○          | —        |
|           |                                                   |       | 高さ 10m超 15m以下<br>または<br>建築面積 500 m <sup>2</sup> 超 1,000 m <sup>2</sup> 以下 | ○     | ○          | —        |
|           |                                                   |       | 高さ 15m超<br>または<br>建築面積 1,000 m <sup>2</sup> 超                             | ○     | ○          | ○        |
|           |                                                   | 臨海ゾーン | 高さ 15m以下かつ建築面積 1,000 m <sup>2</sup> 以下のもののうち、確認申請を行うもの（注5）                | —     | ○          | —        |
|           |                                                   |       | 高さ 15m超 または<br>建築面積 1,000 m <sup>2</sup> 超                                | ○     | ○          | —        |
|           |                                                   |       |                                                                           |       |            |          |
| ② 工作物の建設等 | 工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替または色彩の変更  | 市内全域  | 擁壁、護岸、堤防、その他これらに類するものの高さ 5m以下のもののうち確認申請を行うもの（注4）（注5）                      | —     | ○          | —        |
|           |                                                   |       | 擁壁、護岸、堤防、その他これらに類するものの高さ 5m超等                                             | ○     | ○          | —        |
| ③ 開発行為    | 都市計画法第4条第12項に規定する開発行為                             | 市内全域  | 行為に係る土地面積 500 m <sup>2</sup> 以上                                           | ○     | ○          | —        |
| ④ その他     | その他政令で定める行為（景観法施行令第4条第1号、第2号、第5号で定める行為等）          | 市内全域  | 行為に係る土地面積 500 m <sup>2</sup> 以上                                           | ○     | ○          | —        |

（注1）確認申請の対象となる建築物は、建築基準法第6条に基づくものをいいます。

（注2）増築を行った後の全体の規模が、各欄に定める規模に該当する場合は、行為の届出対象となります。

（注3）外観を変更することとなる修繕又は色彩の変更とは建築基準法第2条第14号、第15号に定義される大規模の修繕、大規模の模様替え若しくは外壁の一面の色彩について過半の変更をする場合をいう。

（注4）確認申請の対象となる工作物は、建築基準法第88条に基づくものをいい、その規模は同法施行令第138条によります。

（注5）確認申請を行わないものも、景観に配慮した計画として下さい。

## ■行為の届出

行為をしようとする者は、行為着手の 30 日前までに「行為の届出」を行います。

表 行為の届出の対象規模

| 行為の種類   |                                                   | 対象規模  |                                                                                                                                                                              |
|---------|---------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建築物の建築等 | 建築基準法第 2 条第 1 号に規定する建築物                           | 生活ゾーン | 高さ 10m 超または建築面積 500 m <sup>2</sup> 超                                                                                                                                         |
|         |                                                   | 臨海ゾーン | 高さ 15m 超または建築面積 1,000 m <sup>2</sup> 超                                                                                                                                       |
| 工作物の建設等 | 擁壁、護岸、堤防、その他これらに類するもの                             | 市内全域  | 高さ 5m 超                                                                                                                                                                      |
|         | 垣、さく、塀、門、その他これらに類するもの                             |       |                                                                                                                                                                              |
|         | 煙突、塔、高架水槽、その他これらに類するもの                            | 市内全域  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ 15m 超</li> <li>・建築物などと一体となって設置されるものは、建築物などの上端から当該工作物までの高さが 5m 超、かつ、地盤面から当該工作物までの高さが 15m 超</li> </ul>                              |
|         | 遊園地などの遊技場、その他これらに類するもの                            |       |                                                                                                                                                                              |
|         | 製造施設、貯水施設、排水施設、電気などの供給施設、ごみ等の処理施設、その他これらに類するもの    | 市内全域  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ 15m 超または築造面積 1,000 m<sup>2</sup> 超</li> <li>・建築物などと一体となって設置されるものは、建築物などの上端から当該工作物までの高さが 5m 超、かつ、地盤面から当該工作物までの高さが 15m 超</li> </ul> |
|         | 自動車車庫の用途に供する立体的な施設、その他これらに類するもの                   |       |                                                                                                                                                                              |
|         | アンテナ、鉄筋コンクリート造の柱、鉄柱、木柱、その他これらに類するもの（ただし、架空線路用を除く） | 市内全域  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高さ 20m 超</li> <li>・建築物などと一体となって設置されるものは、建築物などの上端から当該工作物までの高さが 5m 超、かつ、地盤面から当該工作物までの高さが 20m 超</li> </ul>                              |
|         | 高架鉄道、高架道路、その他これらに類するもの                            |       |                                                                                                                                                                              |
|         | 橋梁、歩道橋、その他これらに類するもの                               | 市内全域  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅員 4m 超または長さ 10m 超</li> </ul>                                                                                                        |
| 開発行為    |                                                   | 市内全域  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行為に係る土地面積 500 m<sup>2</sup> 以上</li> </ul>                                                                                            |
| その他     |                                                   | 市内全域  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行為に係る土地面積 500 m<sup>2</sup> 以上</li> </ul>                                                                                            |

## ＜行為の届出資料＞

景観計画区域内行為(変更)届出書

景観計画区域内完了届出書

(添付書類)

| 資料             | 記載すべき事項                         |
|----------------|---------------------------------|
| 景観配慮事項記述書      | 景観形成基準その他景観に配慮した事項              |
| 位置図            | 敷地の位置及び周辺の状況がわかる縮尺2,500分の1以上のもの |
| 配置図            | 当該敷地内における建築物の位置及び外構計画がわかるもの     |
| 写真             | 当該敷地及び当該敷地周辺の状況を2以上の方向から撮影したもの  |
| 立面図            | 仕上方法及び色彩がわかるもの                  |
| その他市長が必要と認める資料 | 参考となるべき事項                       |

## ■ チェックシートの提出

行為をしようとする者は、景観に配慮した設計であるのか確認するため、設計から完成までの間に「チェックシート」を提出します。

表 チェックシートの対象規模

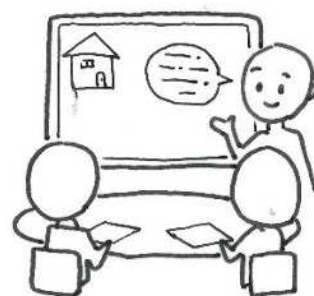
| 行為の種類   | 対象規模 |                                    |
|---------|------|------------------------------------|
| 建築物の建築等 | 市内全域 | 確認申請を行うもの又は大規模の修繕等を行うもの            |
| 工作物の建設等 | 市内全域 | 確認申請を行うもの                          |
| 開発行為    | 市内全域 | 行為に係る土地面積 500 m <sup>2</sup> 以上のもの |
| その他     | 市内全域 | 行為に係る土地面積 500 m <sup>2</sup> 以上のもの |

## ■ 地域説明会の開催

行為をしようとする者は、行為の概要や景色づくりの考え方、計画によって変化する景色のイメージについて、「行為の届出」前に「地域説明会」等を開催し、地域住民等に対して意見交換します。

表 地域説明会の対象規模

| 行為の種類   | 対象規模  |                                       |
|---------|-------|---------------------------------------|
| 建築物の建築等 | 生活ゾーン | 高さ 15m超または建築面積 1,000 m <sup>2</sup> 超 |
|         | 臨海ゾーン | 対象外                                   |



## ■景観形成基準

### 1 共通基準

第2章「良好な景観の形成に関する方針」に示す「地域区分別の景色づくりの基本方針」に従い、良好な景色を保全・創出に努めること。

豊かな自然環境、歴史的景色資源や公共空間に近接する場合は、これらの景色との調和に努めること。

建築物などの配置、規模は、主要な景色資源の眺望を妨げないように努めること。

### 2 個別基準

|         |                    |                                                                                       |
|---------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 建築物の建築等 | 高さ・配置              | 周辺の景色やまちなみと調和（注1）した高さの配置に努めること。                                                       |
|         |                    | 壁面位置は、まちなみの連続性を保つように努めること。                                                            |
|         | 色彩                 | 周辺の自然の景色やまちなみと調和するような色彩とし、マンセル表色系による彩度は6以下を目安とすること。ただし、次の場合はこの限りでない。<br>・増築する場合の既存建築物 |
|         |                    | アクセントカラーを使用する場合は、見付面積の5分の1以下の面積を目安とし、基調となる色彩との調和やバランスに配慮すること。                         |
|         | 素材                 | 周辺の景色やまちなみと調和するように、時間とともに景色に溶け込むような素材の使用に努めること。                                       |
|         | 形態意匠               | 周辺の景色やまちなみと調和するように、屋根、壁面、開口部などの形態意匠の工夫に努めること。                                         |
|         |                    | 商業施設は、賑わいに配慮したデザインに努めること。                                                             |
|         | 外構<br>建築設備<br>附帯施設 | 建築物と調和するように、色彩やデザインを工夫し、通りからの見え方の配慮に努めること。                                            |
|         |                    | 外観を夜間照明で演出する場合は、照明の方法や光源の配置などに工夫し、周辺の環境に配慮すること。                                       |
|         | 駐車場                | 駐車場や駐輪場は、生垣、植栽帯の設置や舗装面の緑化に努めること。                                                      |
|         | 緑                  | 既存樹木の保全と活用に努めること。                                                                     |
|         |                    | 敷地内の緑化に努めること。                                                                         |
|         |                    | のり面は緩やかな勾配とし、周囲に与える圧迫感などを軽減するように緑化に努めること。                                             |
|         | 維持管理               | 建築物とその周囲の美観が保たれるように、維持管理に努めること。                                                       |

（注1）「調和」とは時代や地域によって変わっていくものであり、皆さんに意見を貰いながら、景色づくりを推進していきます。

|                                 |         |                                                                                          |
|---------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 工<br>作<br>物<br>の<br>建<br>設<br>等 | 高さ・配置   | 周辺の景色やまちなみと調和した高さの配置に努めること。                                                              |
|                                 | 色彩      | 周辺の景色やまちなみと調和するように、落ち着いた色彩とし、マンセル表色系による彩度は6以下を目安とすること。ただし、次の場合はこの限りでない。<br>・増築する場合の既存工作物 |
|                                 |         | アクセントカラーを使用する場合は、見付面積の5分の1以下の面積を目安とし、基調となる色彩との調和やバランスに配慮すること。                            |
|                                 | 素材      | 周辺の景色やまちなみと調和するように、時間とともに景色に溶け込むような素材の使用に努めること。                                          |
|                                 | 形態意匠    | 周辺の景色やまちなみと調和するように、工作物の機能を損ねることのない範囲で、形態意匠の工夫に努めること。                                     |
|                                 | 緑       | 敷地内の緑化に努めること。                                                                            |
|                                 |         | 地域の植生にあった緑化に努めること。                                                                       |
|                                 | 外構・附帯施設 | 工作物と調和するように、色彩やデザインを工夫し、通りからの見え方に配慮すること。                                                 |
|                                 | 照明      | 外観を夜間照明で演出する場合は、照明の方法や光源の配置などを工夫し、周辺環境に配慮すること。                                           |
|                                 | 維持管理    | 工作物とその周辺の美観が保たれるように、維持管理に努めること。                                                          |

|                                      |       |                                           |
|--------------------------------------|-------|-------------------------------------------|
| 開<br>発<br>行<br>為<br>・<br>そ<br>の<br>他 | 高さ・配置 | 現況の自然や地形を活かすように努めること。                     |
|                                      | 緑化    | 敷地内の緑化に努めること。                             |
|                                      |       | 地域の植生にあった緑化に努めること。                        |
|                                      |       | 既存の樹木や緑地の保全と活用に努めること。                     |
|                                      |       | のり面は緩やかな勾配とし、周囲に与える圧迫感などを軽減するような緑化に努めること。 |
|                                      | 維持管理  | 緑化による美観が保たれるように、維持管理に努めること。               |

## 第4章 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針

### ■景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針

|                   |                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 指定基準<br>(景観重要建造物) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のシンボルとなる建造物</li> <li>○地域の歴史や文化が形態意匠に色濃く表れているもの建造物</li> <li>○市民に広く愛され親しまれている建造物</li> <li>○登録有形文化財、県指定文化財、市指定文化財に指定等されている建造物</li> </ul>                                                    |
| 指定基準<br>(景観重要樹木)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のシンボルとなる樹木</li> <li>○地域の歴史的・文化的な遺産としての価値がある樹木</li> <li>○市民に広く愛され親しまれている樹木</li> <li>○県指定記念物、市指定記念物、市指定保存樹木に指定されている樹木</li> </ul>                                                           |
| 指定候補<br>(景観重要建造物) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○碧南市民図書館、碧南市芸術文化ホール</li> <li>○碧南市藤井達吉現代美術館</li> <li>○旧大浜警察署</li> <li>○無我苑</li> <li>○火の見やぐら</li> <li>○九重味淋大蔵</li> <li>○応仁寺</li> <li>○熊野大神社</li> <li>○妙福寺</li> <li>など</li> </ul>              |
| 指定候補<br>(景観重要樹木)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○霞浦神社のケヤキ</li> <li>○広藤園のフジ</li> <li>○ケヤキ並木（鶴見町）</li> <li>○カイヅカイブキ（錦町）</li> <li>○モチ（志貴町）</li> <li>○イチョウ（浅間町）</li> <li>○クス（西山町）</li> <li>○松並木（川口町）</li> <li>○クス（鷺塚小学校）</li> <li>など</li> </ul> |
| 保全・活用の考え方         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者及び管理者は、指定された建造物・樹木を適正に管理し保全を図ります</li> <li>・様々な主体は、指定された建造物・樹木を地域の景色づくりにおける貴重な資源として活用を図ります</li> <li>・指定された建造物・樹木の周辺で行う建築等は、当該建造物・樹木との景色の調和に努めます</li> </ul>                               |



碧南市藤井達吉現代美術館



旧大浜警察署



広藤園のフジ

## 第5章 景色づくりの推進に向けて

### ■屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する行為の制限に関する事項

屋外広告物の規制については、現在、愛知県屋外広告物条例に基づいて運用しています。

今後、地域の景色特性を活かした良好な景色づくりを行っていくなかで、本市独自の屋外広告物条例の制定について検討します。

### ■景観重要公共施設の整備に関する事項

|           |                                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的な考え方   | ・市の景色づくりにおいて特に重要な公共施設は、施設管理者の同意を得て、「景観重要公共施設」に位置づけ、整備方針を定めて、魅力的な景色となるよう積極的に取り組んでいくものとする    |
| 指定基準      | ○市および地域の骨格やシンボルとなる道路、河川などの公共施設<br>○周辺の歴史的な建造物などの景色資源との調和が求められる公共施設<br>○周辺の自然との調和が求められる公共施設 |
| 指定の候補     | 道 路：都市計画道路 名古屋碧南線<br>：矢作川堤防リフレッシュ道路<br>都市公園：県営油ヶ淵水辺公園<br>：碧南レールパーク<br>河 川：堀川               |
| 整備の基本的な方針 | ・地域区分別の景色づくりの基本方針を考慮し、地域の景色特性との調和を図ります<br>・住民が憩い親しめる空間としての整備を行うことに配慮します                    |



堀川



矢作川堤防リフレッシュ道路



碧南レールパーク



#### 連絡先

碧南市 建設部 都市計画課

4 4 7－8 6 0 1 碧南市松本町 2 8 番地

TEL : 0 5 6 6－4 1－3 3 1 1 (代表)

FAX : 0 5 6 6－4 6－9 4 5 6

E-mail : [tosikeka@city.hekinan.lg.jp](mailto:tosikeka@city.hekinan.lg.jp)